

環境経営レポート

(活動期間 2023年4月1日～2024年3月31日)

2023年度



認証番号 0008422

株式会社 オザワ

令和6年5月8日発行

目 次

➤1. 組織・事業の概要	1.2
➤2.環境経営方針	3.4
➤3.環境経営組織図及び役割・責任・権限	5
➤4.環境活動推進体制	6
➤5.中長期目標	6
➤6.環境活動実績	7
➤7.環境関連法規の遵守状況	8
➤8.代表者による全体評価と見直し	9
➤9.環境活動の紹介	10.11

1.組織・事業の概要

事業の概要

事業者	株式会社 オザワ	
代表取締役	工藤 敏	
所在地	本社 資材置き場	静岡県伊豆市土肥1130番地1 静岡県伊豆市土肥1874番地
事業内容	建設工事業・造園業・ほ装・水道・建築・管工事	
環境管理責任者	工藤 修司	
担当者	工藤 沙里	
連絡先	TEL 0558-98-2700	FAX 0558-98-2700
Eメール	info@kk-ozawa.com	

当社の概要

- ・ 昭和44年創業
- ・ 土木、建築、水道、造園、外構工事
- ・ 伊豆地域の災害復旧、インフラ整備等、活動をしてきた
- ・ 社員には資格保持者、重機オペレータが多数在籍
- ・ エコアクション21に取り組み、環境保全に努めている
- ・ 自社保有の重機
- ・ 災害時における工事対応、BCPの管理



事業規模



許認可

許可の種類	許可番号	許可年月日	有効期限	許可業種
建設業許可	静岡県知事 (般-02) 第20757号	R03.03.14	R08.03.13	土・建・石・しゅ 舗・水・園・管
産業廃棄物収集・運搬 許可（自社運搬のみ）	第02201025251号	R03.04.10	R08.04.09	がれき類

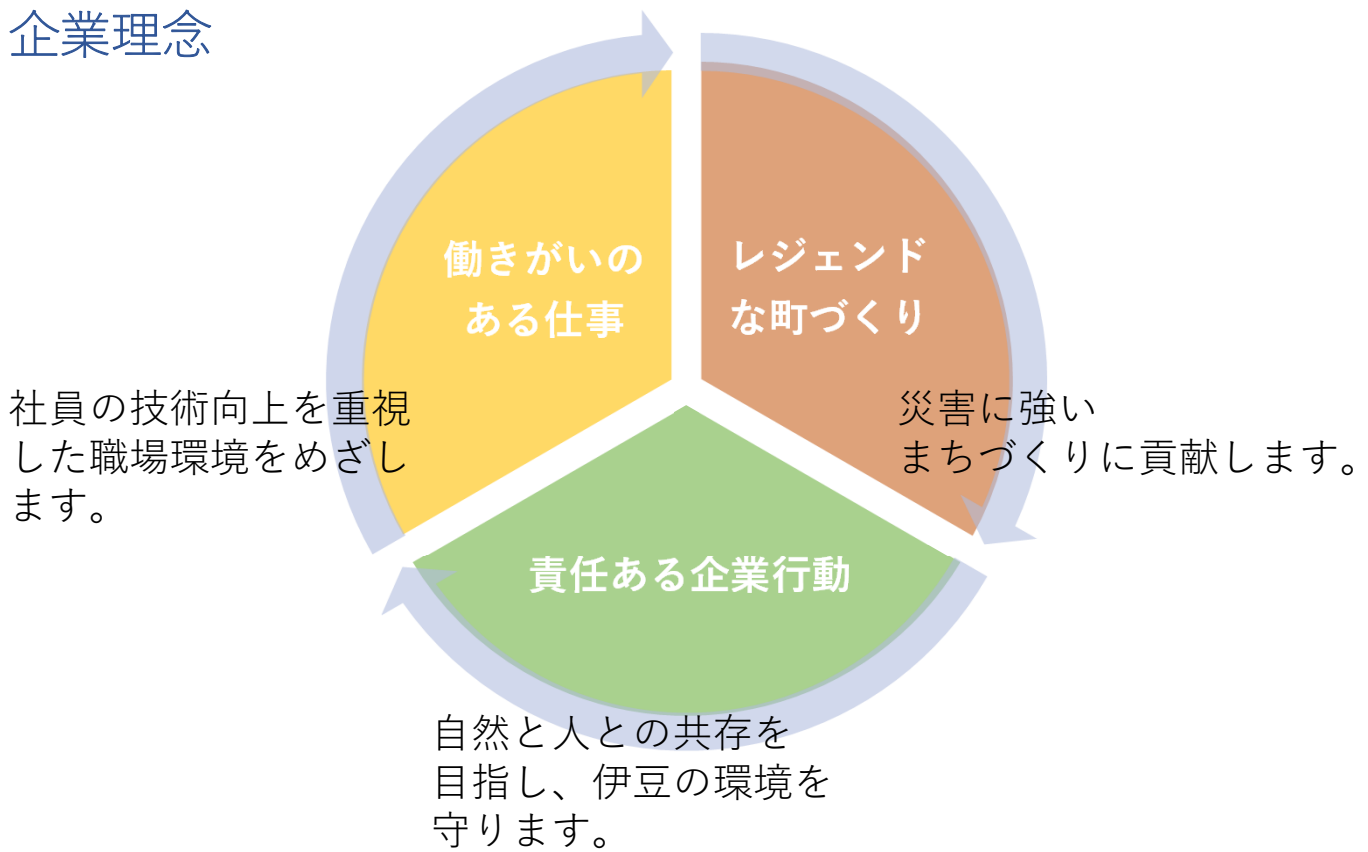
認証・登録の対象範囲範囲

活動：土木・水道・管工事・舗装の一般工事業、造園業
対象組織：本社・資材置き場

登録範囲は全事業所を対象とし、登録内容は事業内容とします。
レポート対象期間
2023/04/01～2024/03/31

2.環境経営方針

企業理念



環境経営理念

株式会社オザワは豊かな自然環境と人との共存を目指し、土木・造園緑化事業を通じて、環境保全への取組みを積極的に行い、事業における環境負荷を把握し、その低減に継続的に努めていきます。

- 現場では排ガス対策型重機を導入し、CO2排出の削減を行います。
- 産業廃棄物の抑制、削減、分別リサイクルの取組みを積極的に行います。
- 使用電力、水道等の使用料の削減を行います。
- グリーン購入の推進に取り組みます。
- 緑ある社会を目指し、緑化事業の積極的な導入を行います。
- 環境方針をすべての従業員に教育し、環境活動についての意識向上に努めます。
- 建設工事現場では環境に配慮した工事、工法を検討します。
- 環境関連の法律を遵守します。

平成23年4月1日

株式会社 オザワ
代表取締役 工藤 敏

2022年4月6日



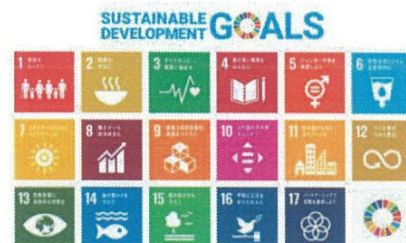
SDGs行動宣言

株式会社 オザワ

わが社は、企業活動を通じて、社会課題の解決に取り組み、SDGs達成に貢献しています。

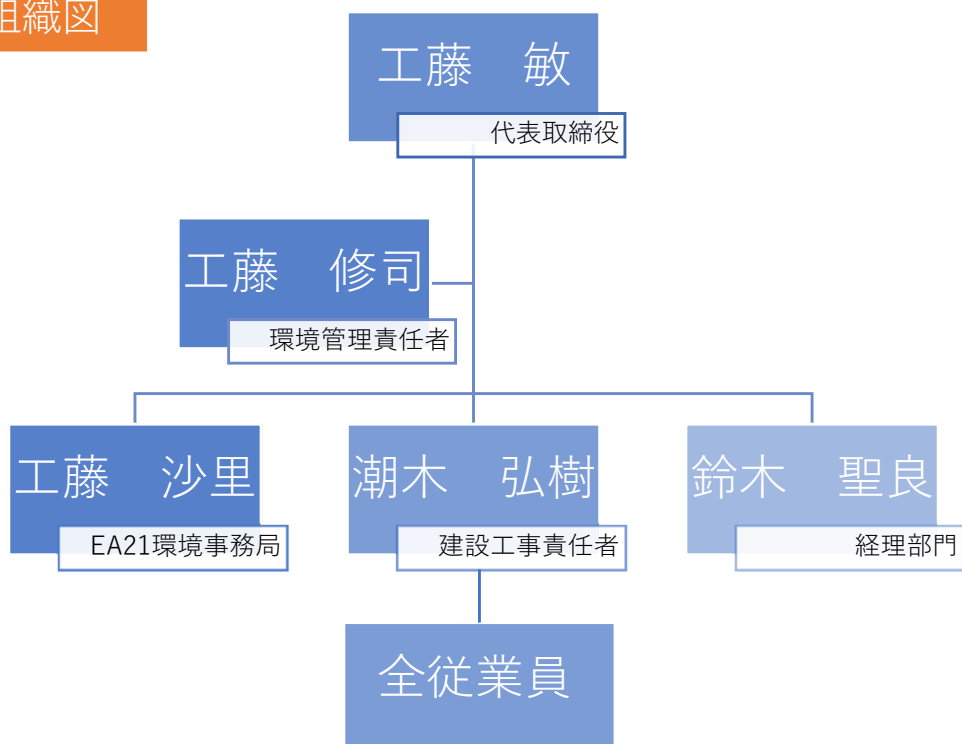
項目	関連するSDGsのゴール	SDGs達成に向けた取組
レジリエントな社会づくり	  	道路等のインフラ整備、造園整備事業で培ってきた技術、高い施工技術を持つ人材・知見を活かし、災害に強いまちづくりに貢献していきます。
責任ある企業行動	  	当社のモットーである「伊豆の環境を守る」を合言葉に、エコアクションの認証を受け、自然環境と人との共存を目指し、土木・造園緑化事業を通じた環境保全に努めています。
働きがいのある仕事	  	社員の技術向上に重きを置き、社内教育・資格取得支援を通じて、伊豆地域の発展・観光産業を支える誇りを持って働きがいのある職場環境づくりを進めています。

株式会社オザワは事業活動を通じてSDGsの達成に貢献します。17のゴールの中でも特に関係性の深い「レジリエントな社会づくり」、「責任ある企業行動」、「働きがいのある仕事」に掲げるSDGs目標の課題解決に向け、当社一丸となって取り組みます。



3.環境管理組織図及び役割・権限

環境管理組織図



役割及び責任と権限

経営者（社長）	● 課題とチャンスの明確化 ● 環境経営方針の制定 ● 必要な経営資源の準備 ● システムの評価と是正箇所の見直しの実施
環境管理責任者	● 環境経営活動の推進 ● 環境計画に沿った活動の確認及び管理 ● 経営者への進捗報告
活動事務局	● 各部門のデータのまとめ ● 記録の維持管理 ● 環境活動責任者のサポート及び代行 ● 環境活動レポートの作成
建設工事責任者	● 工事部門における環境マネジメントの実施 ● 現場での問題点のチェックと是正処置 ● 倉庫の資材、工具等の点検、整理及び在庫管理 ● 従業員に対する教育訓練の実施 ● 現場内での事故及び災害等緊急事態発生時の手順書の作成
経理部門	● 全体の光熱費等の管理と記録 ● 重機車両の燃料費、廃棄物排出量・利用料の集計
全従業員	● 環境方針を周知し、より良きアイデアの提案し行動する

4.環境経営目標

環境負荷及び取組の自己チェック結果から、2020年を基準として下記のような中期環境目標を設定しました。

活動年度は2022年4月から2023年3月です。

電気排出係数は2022年(株)ハルエネ調整後排出係数 0.376kg-CO2/kwhを使用しています。

		中期環境目標				
	取組み項目	基準値 (2020年)	2023年		2024年	2025年
二酸化炭素排出量の削減	電気 (k g-CO2)	4,867	4720	3%削減	4%削減	5%削減
	ガソリン (L)	11,451	11,107	3%削減	4%削減	5%削減
	軽油 (L)	51,717	50,196	3%削減	4%削減	5%削減
	灯油 (L)	443	429	3%削減	4%削減	5%削減
	CO2合計	168,035	162,993	3%削減	4%削減	5%削減
	一般廃棄物 (t)	0.49	0.48	現状維持	現状維持	現状維持
	産業廃棄物 (t)	220	213	3%削減	4%削減	5%削減
	水道使用量の削減	42	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
	グリーン購入促進	環境配慮商品 優先購入	環境配慮商品 優先購入	環境配慮商品 優先購入	環境配慮商品 優先購入	環境配慮商品 優先購入

5.中期環境活動計画

目的	区分	担当	活動項目	R04年度	次年度の計画
二酸化炭素削減	電気量削減	総務部 鈴木	空調温度管理（冷房28度・暖房23度）	○	継続
			クールビズ・ウォームビズの推奨	○	継続
			パソコン機器等のこまめなシャットアウト	○	継続
	使用燃料の削減	土木部 潮木	アイドリングストップ	○	継続
			適切な運転計画の推奨	○	継続
			エコモードのついた車両の購入	○	継続
			排ガス・低騒音重機の使用	○	継続
	リサイクル 廃棄物の	総務部 ク度	書類のデータ化	○	継続
クラウド使用によるペーパーレス化			○	継続	
マニフェストの適正管理			○	継続	
木材のチップ堆肥処理化			○	継続	
節水			節水ステッカーによる呼びかけ	○	継続
グリーン購入			環境ラベル対応品の購入	○	継続
			再生資材への積極的購入	○	継続
環境配慮			自然に溶け込んだ環境エクステリアの導入	○	継続
地域貢献			はないっぱい活動	○	継続

6.計画の評価と今後の取組み

前半期目標の実績と評価

	取組み項目	目標値（2023年） 4-9月	2023年 4-9月 実績	2023年 4-9月 差	評価	削減率
二酸化炭素排出量の削減	電気（k g-CO2）	2,360	1,793	-567	○	
	ガソリン（L）	5,553	5,211	-342	○	
	軽油（L）	25,097	9,441	-15,656	○	
	灯油（L）	214	0	-214	○	
	CO2合計	84,017	38,242	-45,775	○	
	一般廃棄物（t）	0.24	0.07	-0.17	○	
	産業廃棄物（t）	110	68	-42	○	
	水道使用量の削減	21	22	+1	×	
	グリーン購入の促進	環境配慮商品 優先購入	環境配慮商品 優先購入	環境配慮商品 優先購入	○	

年度目標の実績と評価

	取組み項目	2023年 目標	2023年 実績	2023年 差	評価	
二酸化炭素排出量の削減	電気（k g-CO2）	4720	3831	-889	○	-18%
	ガソリン（L）	11107	9696	-1411	○	-12%
	軽油（L）	50194	15984	-34210	○	-68%
	灯油（L）	429	223	-206	○	-48%
	CO2合計	162993	68121	-94872	○	-41%
	一般廃棄物（t）	0.48	0.16	-0.3	○	-62%
	産業廃棄物（t）	213	645	+432	×	+300%
	水道使用量の削減	42	54	+12	×	+12%
	グリーン購入の促進	環境配慮商品 優先購入	環境配慮商品 優先購入	環境配慮商品 優先購入	○	

評価

評価	対象項目	原因	是正及び予防措置
×	産業廃棄物	海岸の流木撤去や業務委託等の産業廃処分工事の受注が多かったため。また新規資材置き場の改修に伴う敷地整備での排出。	現場施工前に廃棄物の発生量の把握と削減目標を立てる。再生資源化の徹底管理。
×	水使用量の削減	節水意識の低下	節水機能の高い製品の購入検討

7.環境関連法規への違反、訴訟など

遵守評価日 令和6年5月8日 工藤 敏

法律等の名称	摘要環境側面	当社対応	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物排出事業者との委託契約	契約書の締結	○
	収集・運搬業許可証確認	県知事最新版許可証	○
	マニフェストの交付義務記載義務・及び虚偽記載の禁止	電子マニフェストによる適正な作成	○
	マニフェストの保管・管理	5年間	○
	マニフェストの期間内返却の確認	90日または50日以内	○
	廃棄物の悪臭・飛散防止	過積載禁止・荷台をシートなどで覆う	○
	不法投棄禁止	不法投棄を行わない	○
	保管場所への掲示	60 c m × 60 c m	○
	最終処分場の現地確認	工事毎	○
	マニフェストの知事報告	電子マニフェストのため不要	○
建設リサイクル法	建設副産物リサイクル	施工計画書・クレダスデータの作成	○
伊豆市廃棄物の処理及び清掃等に関する条件	一般廃棄物の分別排出	ゴミ分別の徹底	○
騒音・振動規制法	特定作業規制	騒音発生時間帯の配慮	○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体対策への協力	○
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	循環的な利用の促進	○
グリーン購入法	環境物品の購入	施工計画書	○
浄化槽法	保守点検・水質検査の実施	保守点検（3か月に1回）・水質検査（年1回）	○
家電リサイクル法	指定家電の適正処分	冷蔵庫・洗濯機・エアコン等	○
PCリサイクル法	OA機器の適正処分	PC・プリンタ等	○
建設業法	工事事業登録と更新及び技術者登録	登録と5年ごとの更新及び資格者登録	○
フロン排出抑制法	事業用エアコン、建設重機エアコンの点検と破棄時指定業者への引き渡	重機エアコン2台	○
建築基準法・道路法 上下水道法・河川法	工事基準の遵守・各種申請手続きの適正登録		○

当時効初に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。関連機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去三年間ありません。引き続き法令順守の維持に努めます。また近隣からの苦情もありませんでした。

8.代表者による全体の評価と見直し

今期の評価として、前半期では項目の多数が目標に達していたが、全体では産廃排出量と水道使用量が達成できなかった。

産廃排出量については今年度工事に道路の維持修繕や港湾の管理業務のため、多数の伐採工事、構造物の取り壊しにおける産廃量の増加が原因の一部であると考えられる。

工事の受注における産廃の増加を防ぐことは難しいので、しっかりとした再資源化、及び可能なリサイクルを引き続き取り組んでいきたい。

また水使用量についても、節水器具や再利用を検討しながらエコアクション活動に取り組んでいきたい。

今年は副業としてキャンプ場経営を行い、その中でもEA21の取り組みを意識して運営等を行ってきた。今後も土木と造園技術を活かした経営環境活動に取り組んでいきたい。

令和6年5月8日

株式会社 オザワ

代表取締役 工藤 敏

9.環境活動の紹介

建設木材のリサイクル

作業中に発生する建設木材について、枝葉等は可能な限りウッドチップperで破碎しています。チップperで粉碎したチップ材は造園部で使用する堆肥や外構工事のグラウンドカバー材として再利用建設木材の発生数量の抑制を行っています。



アダプトロードプログラム

県沼津土木事務所の道路美化活動の取組みである「しずおかアダプトロード・プログラム」の活動を地域貢献として道路清掃を行いました。



土肥分校 花であふれるキャンパス



植物とひとと環境

地球にやさしい

植物は光合成によってCO2を吸収することで地球温暖化を抑える力を持っています

心理的效果

ひとの五感をつかって花・香りを楽しむことで気分をリラックスさせます

視覚疲労軽減効果

緑色は長時間見ても疲れにくい色
パソコン疲れやドライアイの軽減



キャンプ場施設での環境取り組み

コンポストの設置

炊事場横にコンポストを設置し生ごみをたい肥化



作られたたい肥を
場内の植栽に活用



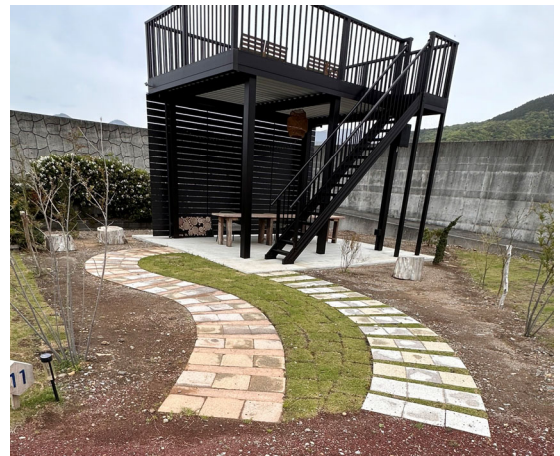
産廃木くずの再利用

現場内から出た伐採木等を
薪として利用



産廃木くずの再利用

撤去工事の廃材ブロックの
利用



ハーブプランターの設置



数種類のハーブの
寄せ植えプラン
ターを設置し、
場内の緑化及び食
育への配慮をしま
した